

2017年(平成29年)6月28日

アイスピグ工法

新潟県流域で実証実験

圧送管
800m

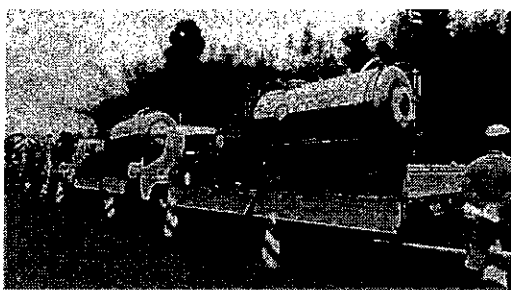
硫化水素低減の検証へ

アイスピグ研究会(岡仲吉会長)は、新潟県阿賀野川流域下水道新井郷川4号幹線(新発田市内)で、圧送管洗浄の実証実験が行われたと発表した。

同研究会会員の緑水工業(家老俊一社長)が提案、新潟県下水道課が現場見学会として企画したもの。県内自治体関係者

や民間業者ら85人が視察に訪れるなど、関心の高さが伺えた。

見学会の冒頭、服部忍県下水道課流域下水道係長は「管内面の腐食劣化や管閉塞により事故が発生すると、復旧には困難を伴う。見学会が圧送管の適正な維持管理の一助となれば」と、見学会開催の意義を各自自治体関係者に呼びかけた。



デリバリーユニットで特殊アイスシャレットを運搬

を実施した。洗浄開始から約30分後、吐出し口に設置したアクリル配管内に黒色に変色した特殊アイスシャレットが流入し、洗浄効果を確認できた。

今回管内洗浄を実施した圧送管路については、半年間継続的に硫化水素濃度を測定し、効果の検証を行う方針だという。

デリバリーユニットで特殊アイスシャレットを運搬